

東京都特別区・市・町村議会議長会 友好代表団が北京市等を訪問

特別区議会議長会は、東京都区市町村と北京市の友好促進を図るため、東京都議会議長会及び東京都町村議会議長会とともに、北京市人民代表大会と相互訪問交流を1983年から実施しています。今年は、コロナ禍が落ち着き4年ぶりの訪中となりました。

三議長会で組織する友好代表団一行10名（団長：山本香代子会長・江東区議会議長）が、10月29日から11月2日までの5日間、北京市及び大連市を訪問し、友好交流を深めました。

■北京市人民代表大会常務委員会 閻傲霜副主任と会見

友好代表団一行は、訪中二日目に北京市人民代表大会を敬訪問し、閻傲霜副主任との会見に臨みました。

はじめに、閻副主任から、歓迎の言葉の後、次のような挨拶がありました。

「日中両国は互いに重要な隣国であり、両国の友好関係を維持させ、かつ発展させることは両国民の願望である。」

2022年に習主席と岸田首相がバンコクで会談した際、新しい時代に合い、



会見する山本団長（左）と北京市人大常務委員会閻傲霜副主任（右）

建設的で良好な日中関係を共に構築していくことでコンセンサスを得られた。

今年の日中平和友好条約締結45周年である。中国側としても、日本とともに相互理解を深化させ、協力を強化し、両国の友好関係を促進させることを切に願っている。

北京市と東京都の協力についてご提案をさせて頂きたい。1点目は、両都市の友好都市としての関係をより強化し、多方面に及ぶ協力を拡大させること、2点目は、法整備分野における交流を強化し、都市化発展の経験を共有していくこと、3点目は区レベルの友好交流も支持し、友好の基礎をより強固なものにしていくことである。

今回のご訪問では通州区と東城区を訪問される予定だと聞いています。多くの人的・文化的交流を行い、実務重視の協力を展開し、両都市人民の相互理解を強化し、日中両国の友好関係を代々継続できるように推し進めることを心より願っている。北京滞在中、是非、多くの所を訪問され、より多くの人々と交流して、近年の北京の発展状況を視察し、両都市の更なる友好関係のためのメッセンジャーになつていただきたい。そして、友好都市締結45周年の時は、両都市の友好関係はより広く、より深くなり、より多くの市民同士が相互訪問するようになることを望んでいます。皆さんの北京での訪問がすべて順調に行われることを祈念す

る。」

これに對して山本団長は、次のような答礼の挨拶を行いました。

「私達のは、1983年に始まり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4年ぶりとなった今回で18回目である。この間、東京と北京市の友好関係は、歳月を重ねることに着実に深まりと広がりをみせている。」

今年、日中平和友好条約締結45周年を迎えた。この間、日中両国は、様々な懸案を適切に処理しながら、お互いにパートナーとして、あらゆる分野で協力と交流を推し進めてきた。また、来年は東京都と北京市において、友好都市締結45周年を迎えることとなる。

私たちは、東京・北京両都市がスポーツや文化をはじめ様々な分野で、さらに交流の歴史を重ね、お互いがますます繁栄することを強く願うものである。

今回の私達の訪問は、短い滞在期間ではあるが、この機会に多くの皆様と友好交歓を行い、理解と友情を一層深めていきたい。」

■友好代表団の視察及び交流

訪中初日には、北京市都市計画



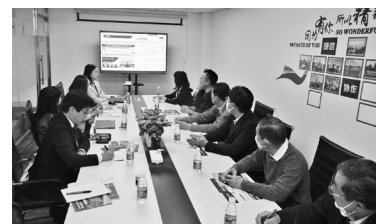
北京市人大常務委員会表敬訪問での記念撮影

展示場を視察し、北京市のまちづくりや歴史についての知見を広げました。2日目午前には、北京市副都心計画展示場を訪問し、北京市副都心の計画や建設等についてを、午後には、前門街道草場コミュニティ町内会議事スペース等を訪問し、住民自治や旧市街の保護と活性化について視察しました。

3日目は、中国のシリコンバレーとも呼ばれる中関村を訪問し、最新の地形計測や3D構築技術を視察しました。団員からは、最新技術の各自自治体での具体的な意見交換が行われました。また、万里の長城、康陵村を巡り、観光、まちおこしなどの状況について見聞を広めました。

4日目は、北京を立ち、大連市を訪問しました。棒極島景勝地、東海公園、ロシア人街を、5日目の最終日は、蓮花山展望台、星海広場など、大連市の観光やまちづくり等を視察しました。

友好代表団は、北京市、大連市や中国に対する理解と友好親善のきずなを深め、帰国の途につきました。



中関村での視察の様子